

令和6年度 授業改善推進プラン（6年生）

令和6年 10月31日

昭島市立中神小学校

教科	観点	現状と課題	具体的な授業改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を穴埋め形式ではかける児童が増えてきている。熟語や文や文章の中で使うことは苦手である。 主語と述語、修飾語など文を構成する言葉の理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学び方の指導や小テストを充実させ、漢字の反復練習を行うと共に日常生活の中で意識して使う機会を増やす。 日常会話から主語や述語、修飾語を意識させ、明確に話すように指導する。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもって学習に向かうことはできてきている。自分の考えを書いて表現したり、説明したりすることに課題がある。 文章を書くことに苦手意識があり、長い文章を書くことが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考に関わる言葉の指導や相手との交流の機会を多く設け、相手と比較を通じて自分の考えを明確にできるように指導する。 友達の考えを聞いたあと、自分の考えを書く時間を設ける。
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 読書好きな児童と嫌いな児童との差が激しい。 長文に対しての抵抗感が大きく、粘り強く考えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを重視し、文章を書く機会を増やしていく。 国語の読書単元や校内の読書週間を利用し、どの児童にも読書の機会を作っていく。 長文であっても、着目する点を押さえることで読み取りやすくなることを指導していく。

社会	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用語や歴史人物などに関心はあるものの、出来事と結びつけることが苦手。 課題を解決するための資料を読み取り、データを活用するのが苦手 関心が高く、意欲的であるが、意欲に差が出てしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語と歴史人物と出来事をセットにしたフラッシュカードなどで、繰り返し学習していく。 年表を用いて、出来事同士の関連性を捉えさせる。 資料の基本的な読み取り方(比較、大きな変化など)を授業で取り上げ、習得できるようにする。 社会的な事象についての見方・考え方を働かせ、考える際の視点を増やすようにする。 児童が身近な生活を通して問題意識がもてるよう、導入やまとめでは児童の生活との関わりを重視するようにする。
算数	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分数のかけ算やわり算では、約分してから計算をすることができない児童がいた。 帯分数を仮分数に直すことができない。 「単位量あたりの大きさ」四捨五入してがい数で求める。人口密度の概念を忘れてしまい、立式することができていない。 割合(百分率の問題)の正答率が低い。 問題の趣旨を読み取り、演算決定することが苦手である。 文章題に抵抗感が強く、最初からあきらめてしまう場面が多く見られ、自力解決に向けた意欲が低い児童が多い。 自力解決したことについて、自分の言葉で説明することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題等で、既習事項を復習するプリント等に取り組ませる。 用語の意味を確認できるようにする。(巻末、掲示等の活用) 人口密度の概念、立式の仕方を指導する。 文章から「もとにする量、比べられる量、割合」を、ラインをひいたり色をかえたりして意識させる。 生活場面でも「もとにする量」がイメージできるように働きかける。 数直線の便利さについて実感できるようにってきているので、今後は、自ら書いて活用できるようにする。 文章問題の内容を理解しやすくするために数直線や線分図を書かせる等の工夫を行う。 自力解決に向けて、全体で見通しをもつ活動を設定し、意欲を喚起するとともに、情報を整理し、その情報を元に筋道立てて考え、自分の考えを説明する活動を充実させる。

理科	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用語の習得が苦手である。特に、「体のつくりとはたらき」の臓器の名前と役割を結び付けることに課題がある。 ・実験や観察に対して意欲は高い、実験の結果から考察を導き出すことにも慣れてきているが、考察を一般化できずに、類似の実験で応用することに課題がある。 ・実験や観察に対しての意欲が高い。振り返りを生かして、次の学習のめあてをもつことや自ら学習計画を立てることに課題のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名称の記憶だけにとどまらず、働き等のイメージも含めて理解させる。また、用語の暗記にとどまらず、意味や役割とも結び付けられるような発問をしていく。 ・理科のノートの書き方や記録の仕方、まとめ方の指導を行い、特に、実験から考察を書かせる指導を積み重ねさせる。振り返りの中で、一般化につながるような声掛けを行う。 ・日頃から日常生活と科学との結び付きについて指導を継続し、振り返りでは、自分たちの疑問や考えが広がるよう指導を積み重ねていく。
音楽	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの習得が不十分であり、運指、タンギングについて課題のある児童が数名いる。 ・拍の流れにのって歌ったり、演奏したりすることが出来ず、周りの音を聴いてみんなで合わせて演奏することができない児童が数名いる。 ・様々な楽器に興味をもち「やってみたい」という気持ち強い児童が多いが、順番での練習や音を出さない等のルールを守れない児童が数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の練習に取り組む前に1音ずつ階名と運指の確認、指練習などを常時行い定着させる。範奏から、美しい音色を聴き取る機会をつくる。 ・拍の流れに乗って指揮をしたり、体を動かしたりしながら拍感をつけられるようにする。静かな状態をつくり、常に周りの音を聴くことに集中できるような環境を整えながら音楽を楽しめる経験を増やしていく。 ・約束事を大きく掲示し、楽器を扱う際に毎回確認する。待ち時間は、タブレットの鍵盤アプリを活用して、充実した練習ができるよう工夫する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図画工作</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組むが、失敗を恐れながら制作する面もある。 ・教師へ「これでいいのか」とよく確認することがあり、表現に正解を求めている。 ・平面作品、立体作品のどちらにも意欲的に取り組み、造形的な関心が高い。一方で教師の話最後まで聞けず、作業や片付けのメリハリがないことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に練習を十分にさせる。段階的に達成感を味わうことができるようにする。 ・良いアイデアを積極的に褒め、自分の表現に自信をつけさせる。 ・導入を工夫し、児童の驚きや感動を誘い出すようにする。授業規律を見直し落ち着いて学習できる環境を整える。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家庭</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験や知識・技能に個人差が見られる ・生活環境や自分の健康的な生活について、よく考えられるが実践する機会が少ない。 ・調理の手順や工夫について「なぜそうするのか」を考えられる人が少ない。 ・実習への関心は高いが、家庭でも実践しようとする人は少数で、学校の授業で学びが完結してしまう人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童は教師の近くにしたり、得意な児童の隣にしたりと座席を工夫する。 ・生活にどう生かすかという視点で、活動や授業の振り返りを行う機会を設ける。 ・調理実習の事前指導でワークシートを活用し、材料ごとに細かく見ていく。 ・意欲を維持できるよう、家庭へ声掛けるとともに、長期休みの課題として取り入れる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体育</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の内容によって技能に偏りが見られる。 ・教員や友達のアドバイスを生かして、やり方を工夫しようとする姿が見られる。一方で、自分のやり方にこだわってしまい、うまく技能の向上に結び付けられない児童も見られた。 ・意欲的に取り組む児童が多いが、苦手な領域について、消極的な態度になりがちな姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために体育を行うかの意識を高め、集団の良さや、運動の楽しさを味わわせる。 ・場の設定を工夫すると共に、運動量を十分確保する。 ・運動の特性に触れながら、運動の意味について伝えていく。 ・自己の課題の解決の方法や友達の良い所を伝える時間を確保し、運動の中でも学び合える環境を作る。工夫によって、技能の向上が見られた例を紹介して、意欲の向上を図る。 ・自分の課題を見付け、今もっている力でできること、できそうなことを確認し、克服できるように学習カードやグルーピングなどを工夫する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外国語</p>	<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・罫線を用いて、アルファベットの大文字・小文字を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを書く際は、罫線があるノート、ワークシートを活用し、日頃から意識して取り组ませる。
	<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで表現しようとしている。事前にメモした表現は言えるが、既習の表現を使った簡単な会話にすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な会話表現を繰り返し発音するしたり、ペアトークの機会を設け、表現をする機会を増やす。
	<p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで取り組む姿勢が見られる。相手に伝える意識、相手の言葉を聞く意識をより高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習やグループ学習を通して、コミュニケーションを取り合う機会を増やす。